

Across the Land

「境界線を越えて地の果てまで」



Csillapont フェス、キャンプ

西部中会宣教師：川瀬弓弦

Áldás békeséget 「平安がありますように」 (教会での挨拶)

ハンガリー人宣教二年目の生活と働きの両方が、守られ導かれていることに感謝します。志恩(17歳)は、円錐角膜という目の病気のため、右目がほとんど見えていないことが分かり、12月に手術をすることになりました。家族を取り巻く困難は決して少なくないのですが、ハンガリーにいることの召しは反対に強められています。

7月は毎週のように様々なキャンプが開催されました。どれも一週間前後と期間が長く、体力的にはかなり厳しかったのですが、非常に充実した祝福された夏となりました。

ディオージュ教会ユースキャンプは、性的少数者の問題で世界中が揺れる中、あえて「性別・男女の役割・結婚」をテーマに開催されました。メッセージ、スモールグループ、ゲームと役割は多岐に渡りましたが、私に課された一番の課題はユース初の賛美チームを取りまとめること。多くの子供たちの関心が注がれ、これまでの10年以上の教会形成で実現しなかったことが、一気に実現へと至りました。期間中至るところで賛美と祈りの声が聞かれ、子供たちの信仰があらゆる点で強められました。

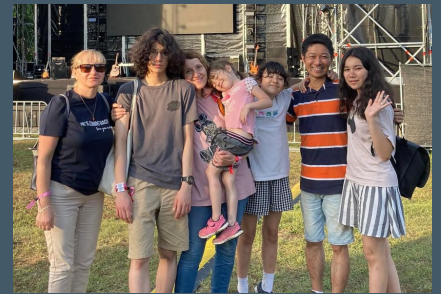
聖書による青年・児童伝道を中心とする宣教団体**Scripture Union**が主催する、子供のための**英語キャンプ**にスタッフとして参加しました。6人という少ないスタッフで毎晩遅くまで続けられる準備に翻弄されながらも、チームの信仰による結束力と努力、参加してくれる子供たちの笑顔に励まされました。英語を生かした働きの可能性も含め、実りの多いキャンプとなりました。



ディオージュ教会ユースキャンプ



英語キャンプ スタッフと



弓弦：忙しくなり、だんだんと余裕がなくなってきました。

エダ：少しずつハンガリーでの生活に慣れてきた模様。

俐咲(リカ)：パパにもハンガリー語で話しかけるほど上達。

志恩(シウ)：家で飼っている様々な生き物に心癒されています。

ヨハンナ：ピアノのレッスンを再開。とても早口な先生！

なおみ：ケーキ作り、絵、動画編集と多趣味。背も高く！

カタリン姉(左端・エダのお姉さん)：長くウクライナで教師をしていましたが、現在はブダペスト郊外の小学校で働いています。こちらでの生活をサポートしてくれる頼もしい存在！

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイ5章9節

Csillagpontフェスティバルは、所属するハンガリー改革派ユース部門のフェスで、この夏最大のイベントとなりました。国内外から三千人を超える若者が集まり、礼拝、交わり、スポーツ、ゲーム、コンサートなどを心から喜び楽しむ事のできる、改革派信仰「有神論的人生観・世界観」を体現するような素晴らしい時となりました。次回は2年後の夏となりますが、できれば日本の教会からもグループで参加し、何らかの役割を果たせるような形ができることを願っています。

このフェス中に日本文化と宗教に関するプレゼンを担当しました。そこで出会ったある青年が、ハンガリー国内の日本人学生への宣教に関心を持ってくれ、まだ実現はしていませんが、現在ブダペスト市内のある大学で、**日本人学生のための集まり**を企画しています。覚えてお祈りください。



ディオージュ教会にて

教会では、毎週の礼拝音楽の他に、8月から不定期ながら日曜礼拝での説教を担当することになりました。語学能力のゆえ制限もあり、語るべき半分も伝えられないもどかしさと戦いながらも、現地の言葉で御言葉を語ることの喜びを味わうことができました。日本で教えられ、味わってきた福音の豊かさと恵みが、ハンガリーの兄弟姉妹の魂に新鮮な息吹を吹き込んでいるのが良く分かります。



また夏休み以降、教会のユースグループは増え続けています。去年来た頃は10人程度だったミーティングは、今では毎回20名を超えるほどに成長しています。

支援会より

現在（10/20）累計で15,841,741円の支援金をささげていただきました。世界的な物価の高騰で当初予定していたよりも多くの支出を余儀なくされていますが、皆様も大変な中多くの捧げものによって支援して下さることは心強く深く感謝します。

ゆうちょ銀行振替口座：

口座番号 00940-1-284489

口座名称 「アクロス・ザ・ランド」

事務局担当 加門勝老（恵泉教会長老）Tel: 078-752-4148

祈りの課題

- ✦ 志恩の目の手術が成功し、視力が回復するように。
- ✦ 日本人学生のための集まりが実現するように。
- ✦ ディオージュ教会での説教、音楽、ユースの働きのために。
- ✦ Csillagpontのリーダーたちとアーロン牧師の活動のために。
- ✦ ウクライナ戦争の早期平和的解決のため、難民のために。



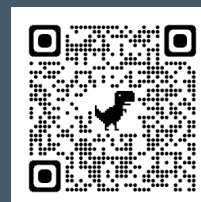
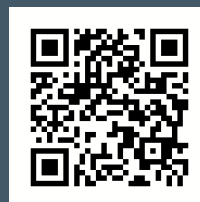
ホロコーストの際、ドナウ川で銃殺された数千人のユダヤ人を覚えて設置された靴のモニュメント。彼らは銃殺される前に靴を脱がされました。当時、靴は高級だったからです。今でも国内には多くのユダヤ系住民がありますが、イスラム圏からの移住者は更に多く、西ヨーロッパに押し寄せる反ユダヤ主義の波が、ここハンガリーには来ることがないように祈っています。

LINE公式アカウント



ホームページ

ホームページ、支援に関する事柄は以下よりアクセス。



各種お問合せは、ホームページのCONTACTからお願いします。

ハンガリーの住所

Homokbánya utca 21/A
 Diósd, Pest, 2049
 Hungary